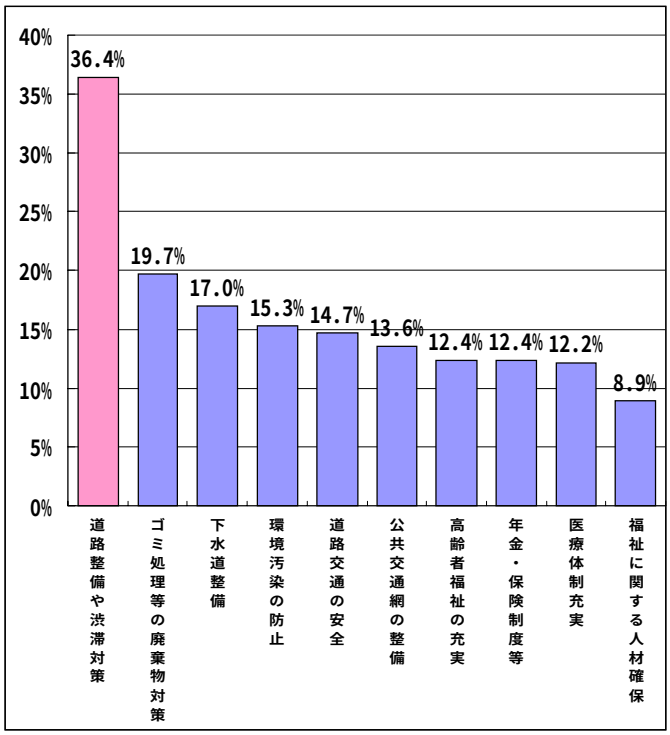
# 説　明　資　料

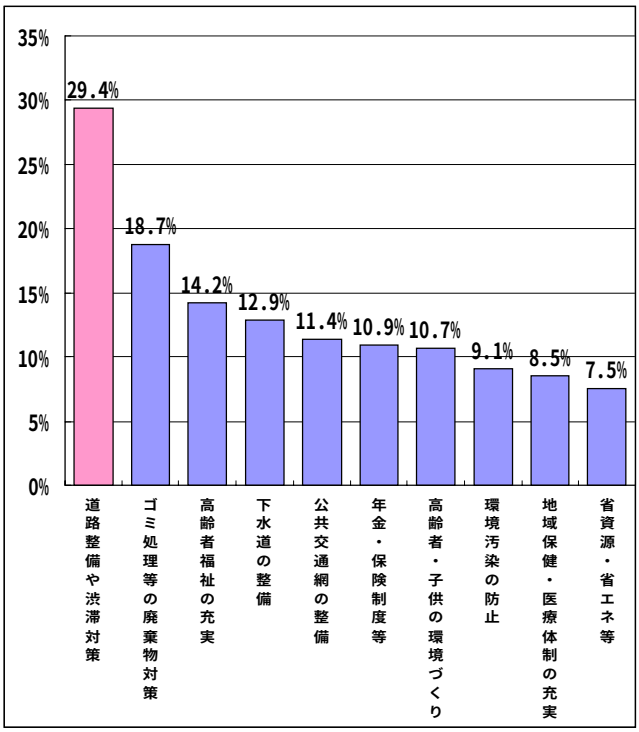
奈良県土木部

# 道路整備に対する意向調査

・奈良県について特に不満だと思う項目として、「道路整備や渋滞対策」と答えた回答者が最も多くなっています。
・また、特に重要だと思う項目についても、「道路整備や渋滞対策」と答えた回答者が最も多くなっています。
・都市計画区域内の住民に対するアンケートでは、都市づくりの課題として南北方向の幹線道路の整備不足、主要駅周辺の駅前広場等の整備不足、県外と結ぶ４車線道路や高速道路の整備不足が挙げられています。
・車で移動する場合の総合評価が高いのは、福井県、兵庫県で約４割の人が満足しています。
・一方、奈良県、和歌山県では不満足の割合が、他府県に比べて高くなっています。
・県外居住者に対するアンケート結果では、観光地を結ぶ幹線道路の整備不足が最多回答項目となっています。

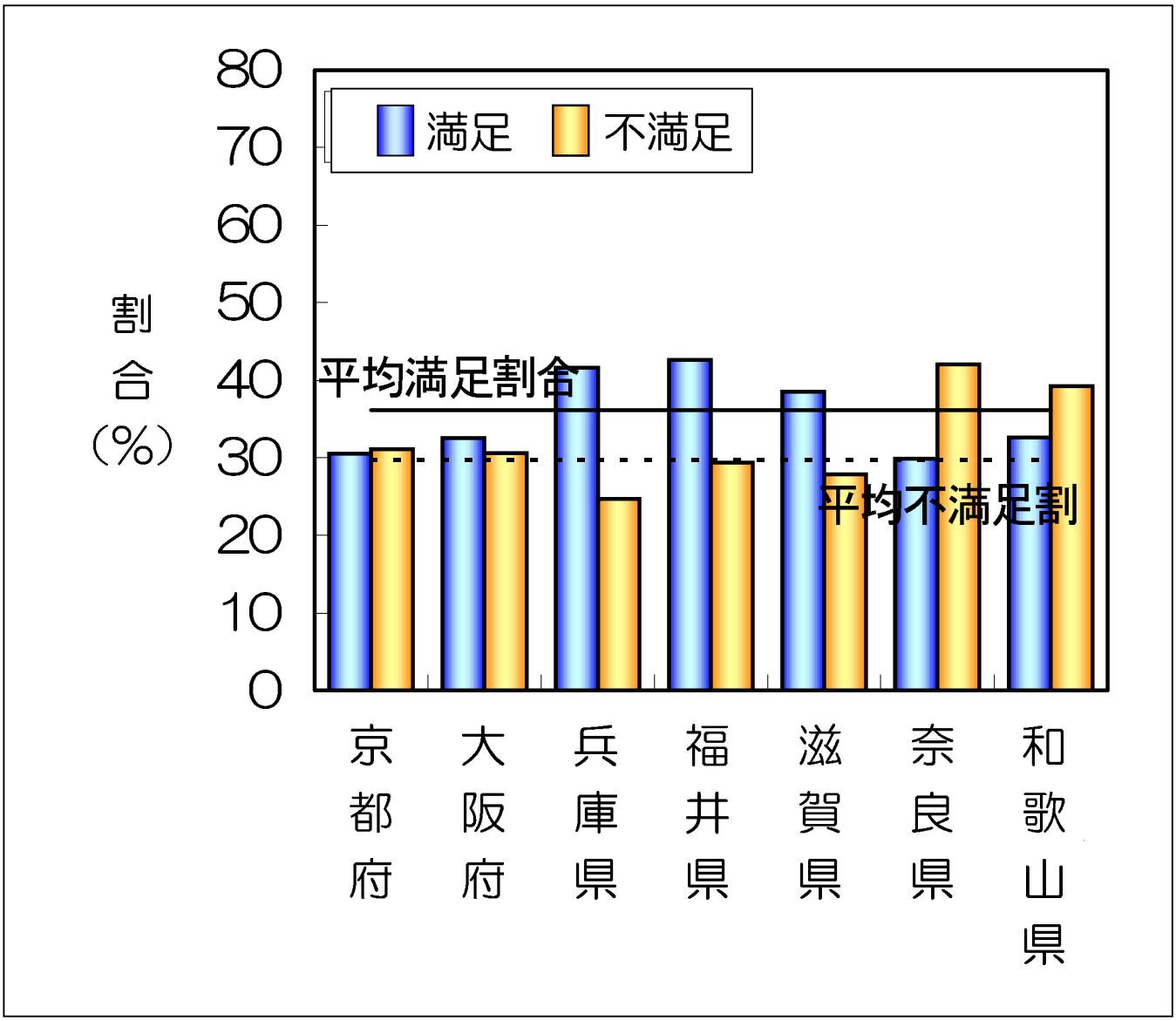



**奈良県において特に不満と思う項目**
**（県民アンケート）**




**奈良県において特に重要だと思う項目**
**（県民アンケート）**

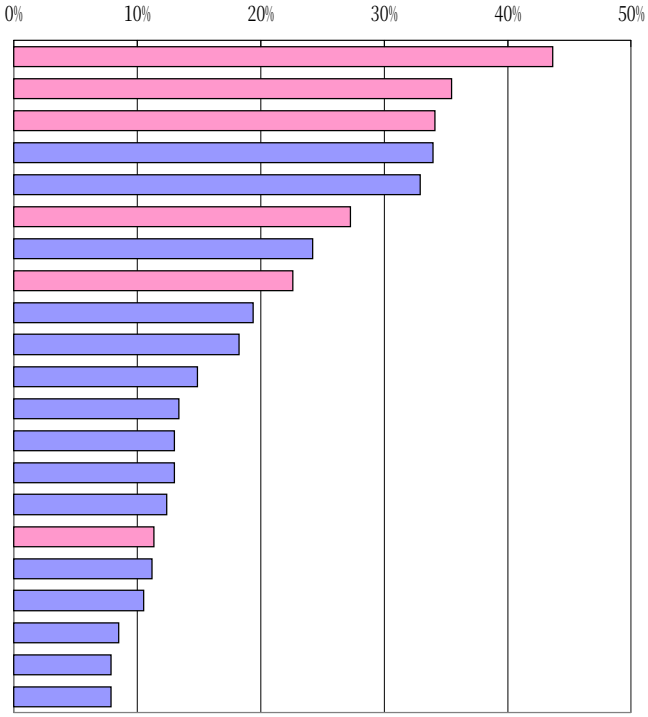
＜奈良県新総合計画後期実施計画策定　県民アンケート H11.12.15～12.3.30＞




**車で移動する場合の総合評価**

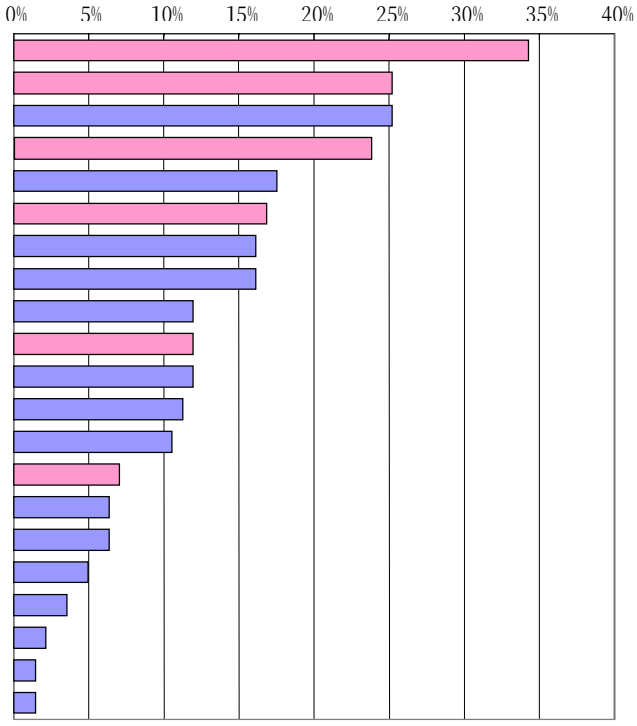
**＜道路満足度アンケート　H14.2.初～下旬＞**

| 項目 | 回答 | |
|---|---|---|
| 南北方向の幹線道路が少ない | 261 | 43.6% |
| 主要駅周辺の駅前広場等の整備が不十分である | 212 | 35.5% |
| 県外と結ぶ４車線道路や高速道路が少ない | 204 | 34.1% |
| 県内に働く場、遊ぶ場が少ない | 203 | 33.9% |
| 大型店の郊外出店傾向で中心商店街が衰退 | 197 | 32.9% |
| 東西方向の幹線道路が少ない | 163 | 27.3% |
| 県北部と南部の地域間格差 | 145 | 24.2% |
| 観光地を結ぶ幹線道路が不十分である | 135 | 22.6% |
| 歴史・文化遺産などの活用不足 | 116 | 19.4% |
| 地域の中心となれる商業業務地が少ない | 109 | 18.2% |
| 住宅地の地価が高い | 89 | 14.9% |
| 大雨時に浸水被害がある | 80 | 13.4% |
| 社会ニーズに応じた住宅整備ができない | 78 | 13.0% |
| 大規模な公園が少ない | 78 | 13.0% |
| 市街化調整区域内での規制による開発を抑制 | 74 | 12.4% |
| 幹線道路沿いの景観が悪い | 68 | 11.4% |
| 市街化調整区域内の農業環境悪化 | 67 | 11.2% |
| 中心市街地で土地の高度利用が図られていない | 63 | 10.5% |
| ｲﾝﾀｰﾁｪﾝｼﾞ周辺は、工業流通用地として活用不足 | 51 | 8.5% |
| 工業用地が少ない | 47 | 7.9% |
| 不明 | 47 | 7.9% |
| 回答者数 | 598 | 100.0% |




**奈良県の都市づくりの課題（都市部県民アンケート）**

| 項目 | 回答 | |
|---|---|---|
| 観光地を結ぶ幹線道路が不十分である | 49 | 34.3% |
| 主要駅周辺の駅前広場等の整備が不十分である | 36 | 25.2% |
| 歴史・文化遺産などの活用不足 | 36 | 25.2% |
| 南北方向の幹線道路が少ない | 34 | 23.8% |
| 県北部と南部の地域間格差 | 25 | 17.5% |
| 県外と結ぶ４車線道路や高速道路が少ない | 24 | 16.8% |
| 大型店の郊外出店傾向で中心商店街が衰退 | 23 | 16.1% |
| 県南部での過疎化 | 23 | 16.1% |
| 地域の中心となれる商業業務地が少ない | 17 | 11.9% |
| 幹線道路沿いの景観が悪い | 17 | 11.9% |
| 県内に働く場、遊ぶ場が少ない | 17 | 11.9% |
| 奈良県への往来 | 16 | 11.2% |
| 不明 | 15 | 10.5% |
| 東西方向の幹線道路が少ない | 10 | 7.0% |
| ｲﾝﾀｰﾁｪﾝｼﾞ周辺は、工業流通用地として活用不足 | 9 | 6.3% |
| 中心市街地で土地の高度利用が図られていない | 9 | 6.3% |
| 社会ニーズに応じた住宅整備ができない | 7 | 4.9% |
| 住宅地の地価が高い | 5 | 3.5% |
| 工業用地が少ない | 3 | 2.1% |
| 大雨時に浸水被害がある | 2 | 1.4% |
| 大規模な公園が少ない | 2 | 1.4% |
| 回答者数 | 143 | 100.0% |




**奈良県の都市づくりの課題（県外居住者アンケート）**

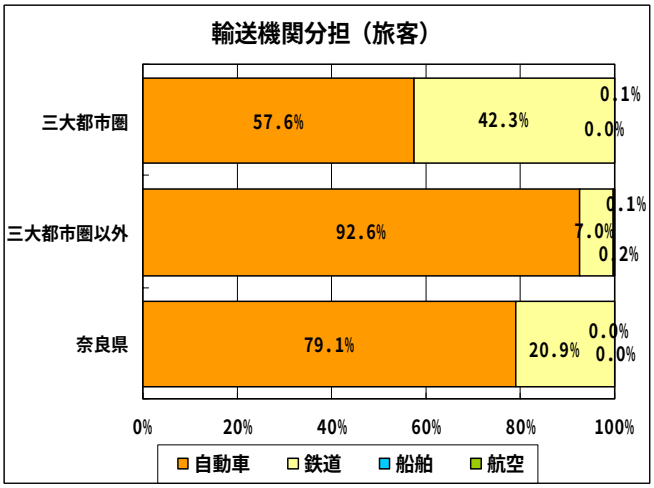
**＜都市計画区域マスタープラン策定　アンケート H14.2.8～2.18＞**

# 奈良県の交通特性

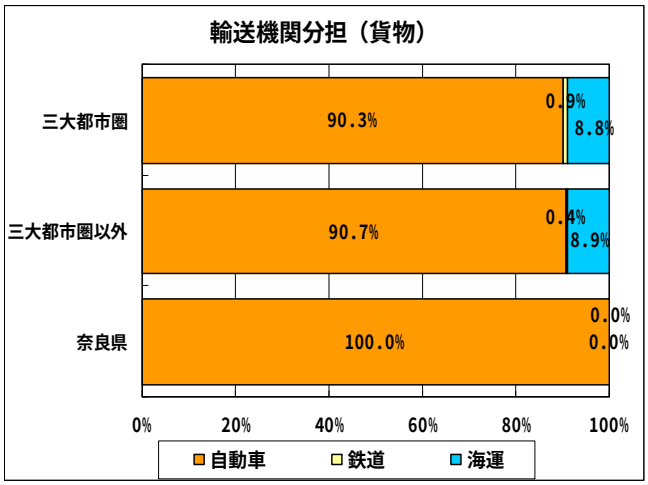
## 輸送機関分担

### 旅客や貨物の輸送は自動車に依存

・奈良県では旅客輸送の 79%を自動車が担っており、三大都市圏と比較すると割合が高くなっています。
・貨物輸送については、100%を自動車が担っています。
・また、奈良県を訪れる人が利用する交通機関の多くは自家用車となっています。

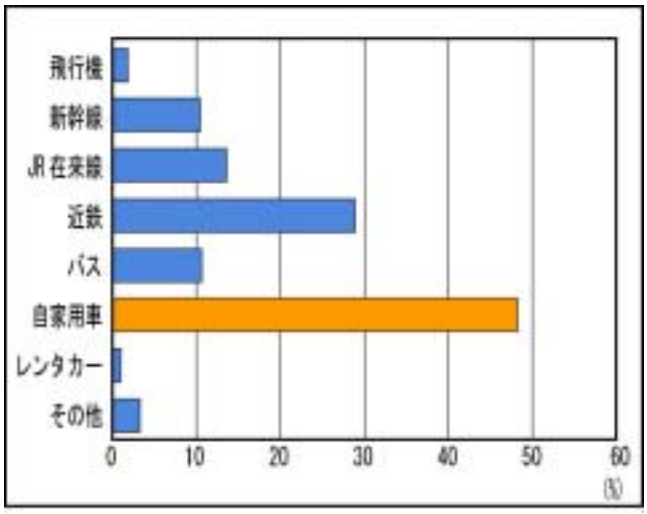



旅客輸送の機関分担

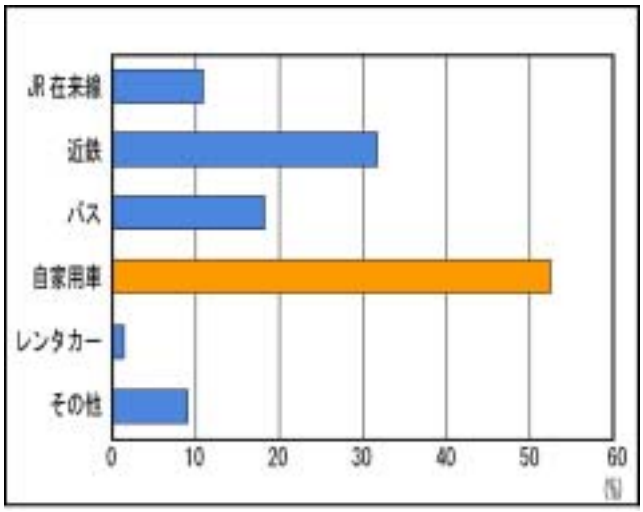



貨物輸送の機関分担

資料：平成 11 年度 貨物・旅客地域流動調査




来訪者が奈良県を訪れる為に利用した交通機関（複数回答）




来訪者が奈良県内で利用した交通機関（複数回答）

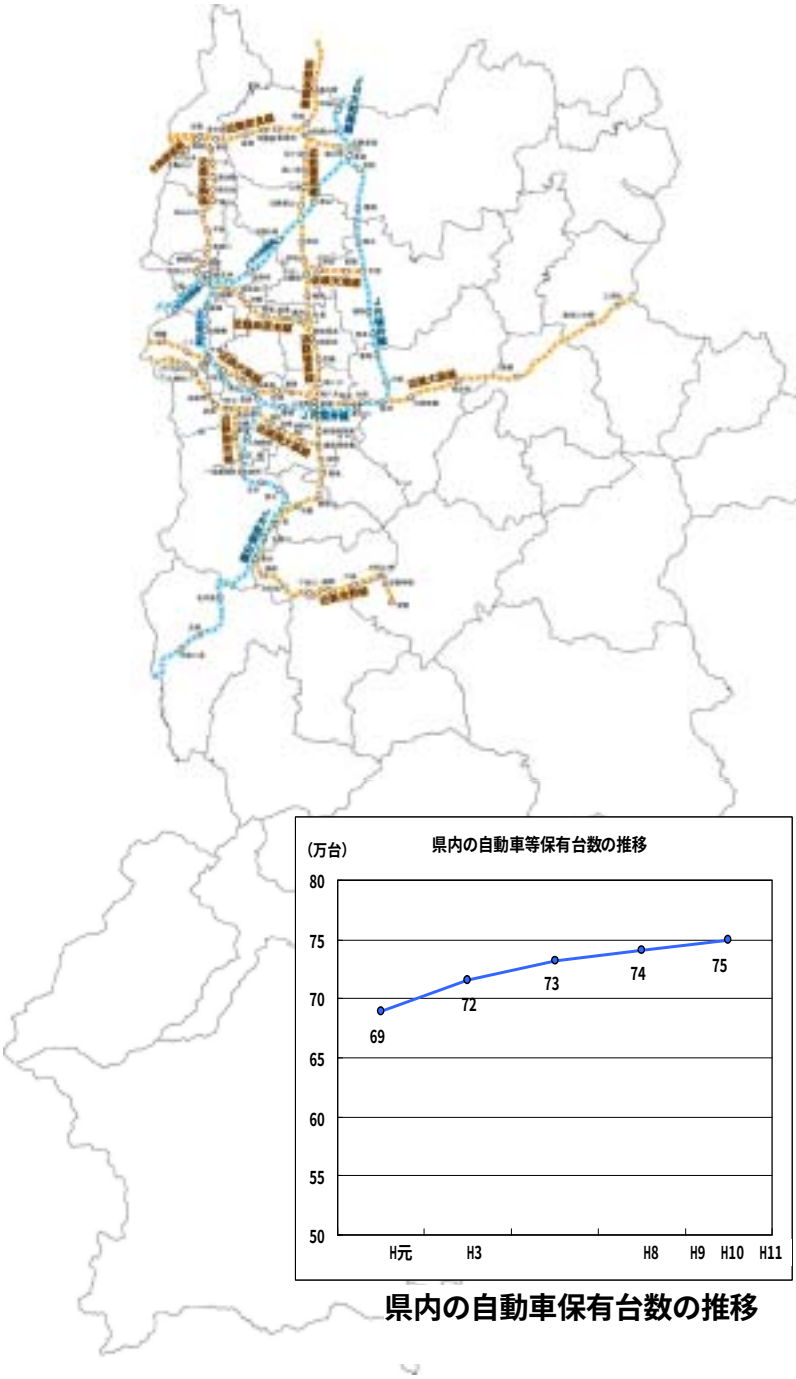
資料：奈良県観光実態調査
（平成９年度における街頭面接調査）

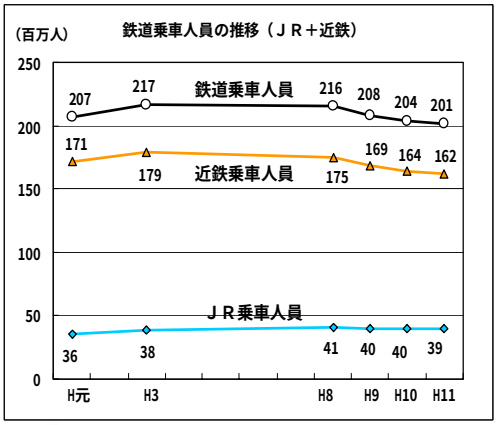
## 公共交通（鉄道）

### 鉄道利用者は減少傾向

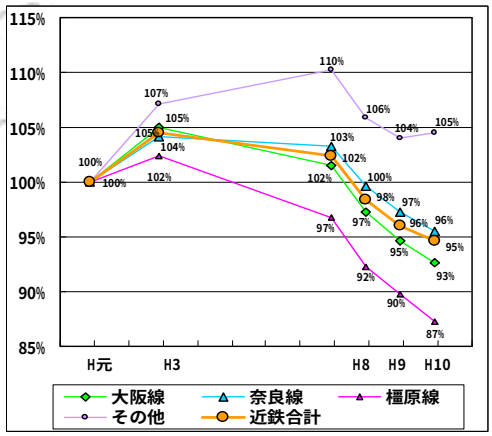
・県内の鉄道網は、大和平野地域を中心にＪＲと近鉄により形成されています。
・鉄道の利用者数は近年、減少の傾向を示しており、その傾向は近鉄がより顕著となっています。
・一方、県内の自動車保有台数は増加する傾向にあります。

奈良県の鉄道網





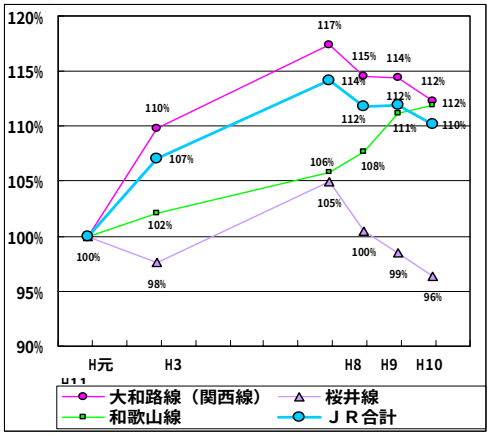

県内の鉄道乗車人員の推移




近鉄乗客数の推移（平成元年を 100%とした場合の割合）




県内の自動車保有台数の推移




JR 乗客数の推移(平成元年を 100%とした場合の割合)

資料：県統計年鑑

## 全国的にみて整備が遅れている奈良県の道路

・国道等の構成割合を見ると、高速自動車国道や一般国道（指定区間）の割合がそれぞれ２％、17％と低く、指定区間外の国道割合が 81％と全国で最も多くなっています。
・奈良県の道路整備状況を全国と比較すると、改良率や整備率など、質（整備状況）の面で整備が遅れています。

H12. 4. 1現在　道路統計年報2001

# 道 路 整 備 状 況

| | 全国順位 | データ |
|---|---|---|
| 人口 | 29 | 1，443千人 |
| 面積 | 40 | 3，691㎢ |
| 自動車保有台数 | 38 | 767千台 |
| 高速自動車国道延長 | 47 | 18km |
| 実延長（一般道路） | 40 | 11，967km |
| 舗装済延長 | 41 | 9，568km |
| 舗装率 | 22 | 80% |
| 改良延長 | 46 | 4，912km |
| 改良率 | 43 | 41% |
| 整備済延長 | 46 | 4，567km |
| 整備率 | 43 | 38% |
| 歩道延長 | 44 | 1，066km |
| 道路面積（一般道路） | 41 | 60㎢ |
| 道路率 | 28 | 1.60% |

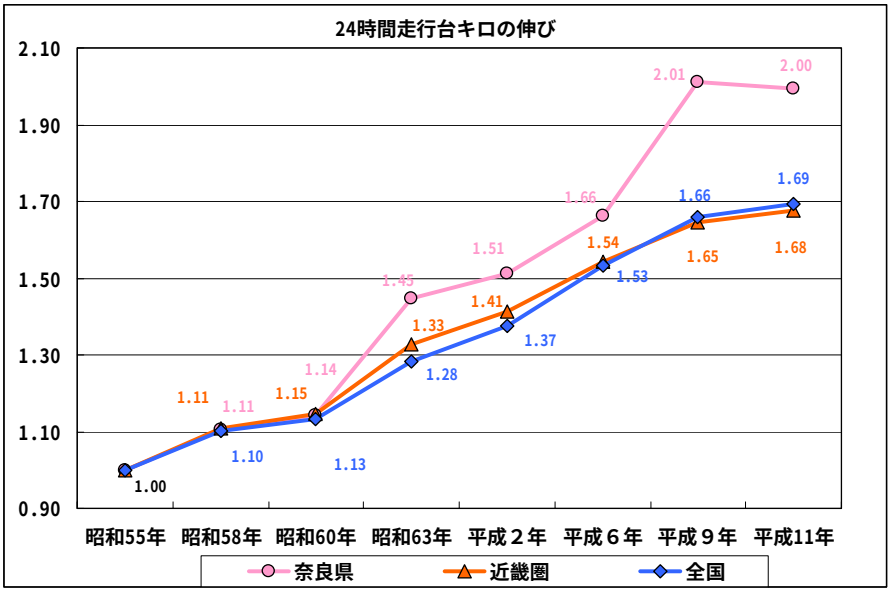
| 凡 | 例 |
|---|---|
| | 全国順位 |
| | 1～20位 |
| | 21～40位 |
| | 41～47位 |

資料：道路統計年報2001

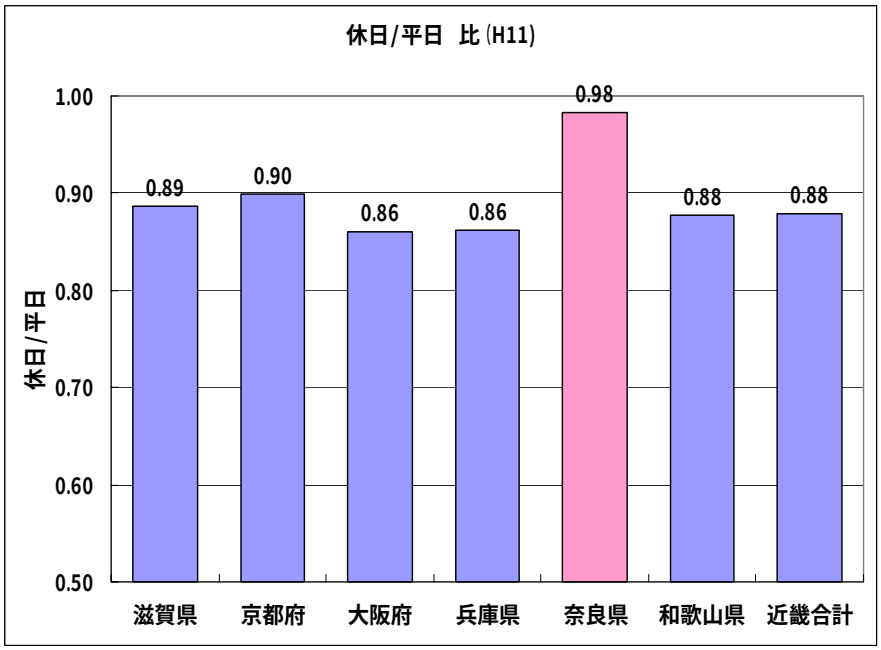
**自動車交通**
**交通状況**

## 休日でも多い自動車交通

・県内の 24 時間走行台キロは、昭和 55 年の約２倍となっており、近畿圏及び全国と比較し伸び率が高くなっています。
・一般的に休日は平日と比較して自動車交通が減少しますが、奈良県では平日と比べてほとんど減少しない特徴があります。
・これは、主に休日の観光交通が多いためと考えられます。




**２４時間走行台キロの伸び（昭和 55 年を１とする）　　資料：道路交通センサス**
**※但し、全国は 12 時間走行台キロの伸び**



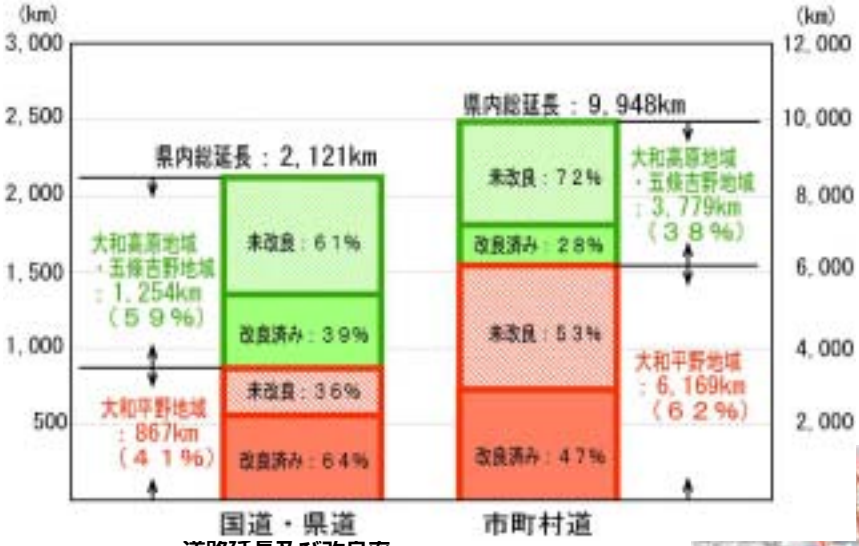

**走行台キロの休日/平日比(平成 11 年)　　資料：道路交通センサス**

※走行台キロとは自動車の交通量に走行距離をかけたものであり、
道路の交通状況（どれくらい使われているか）を表す時などに用いられます。

## 地域別に見た道路交通状況

### 大和平野地域

・大和平野地域は県土の２割の面積に対し、国道及び県道の４１％が配置されていますが、約１／３については十分な幅員が確保されていません。
・また、市町村道は、県全体の６２％が配置されていますが、その５０％以上が十分な幅員が確保されていません。
・地域の骨格として、大和平野地域を貫く南北方向の４車線道路がありません。
・道路網に階層性が無いため、地域を通過する交通と地域住民の交通が同じ道路を利用し、地域全体で交通の流れが悪くなっています。
・大和平野地域は、県内の産業・観光の中心であるため、平日・休日とも交通量も多く、慢性的な渋滞が発生しています。
・渋滞対策として、幹線道路の整備やボトルネックの解消を進めていますが、用地取得が課題となっています。
・古くからの道路など、歩道が未整備の区間が多く残っています。



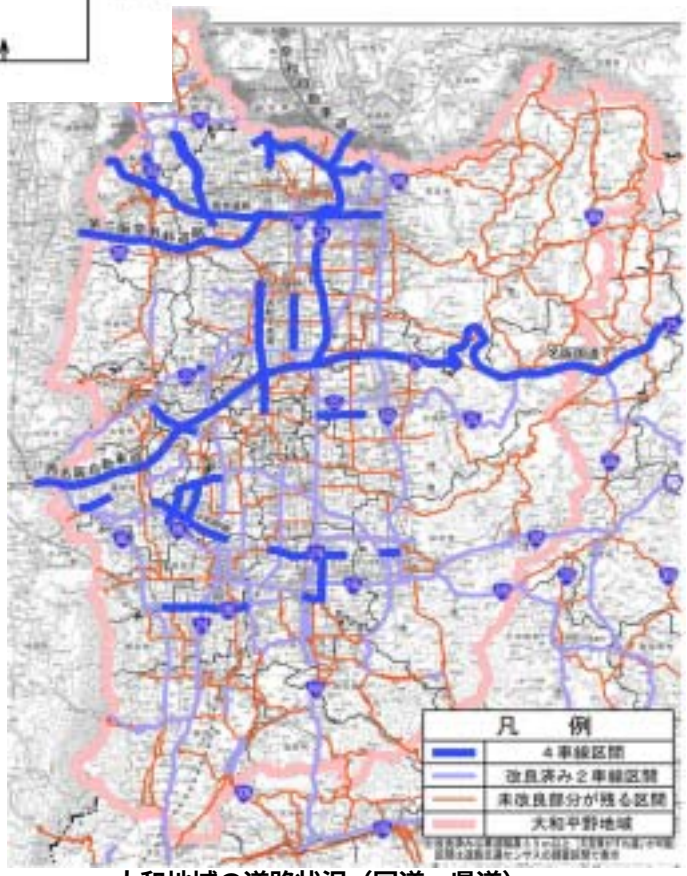

道路延長及び改良率

資料：道路現況調査（H13.４）

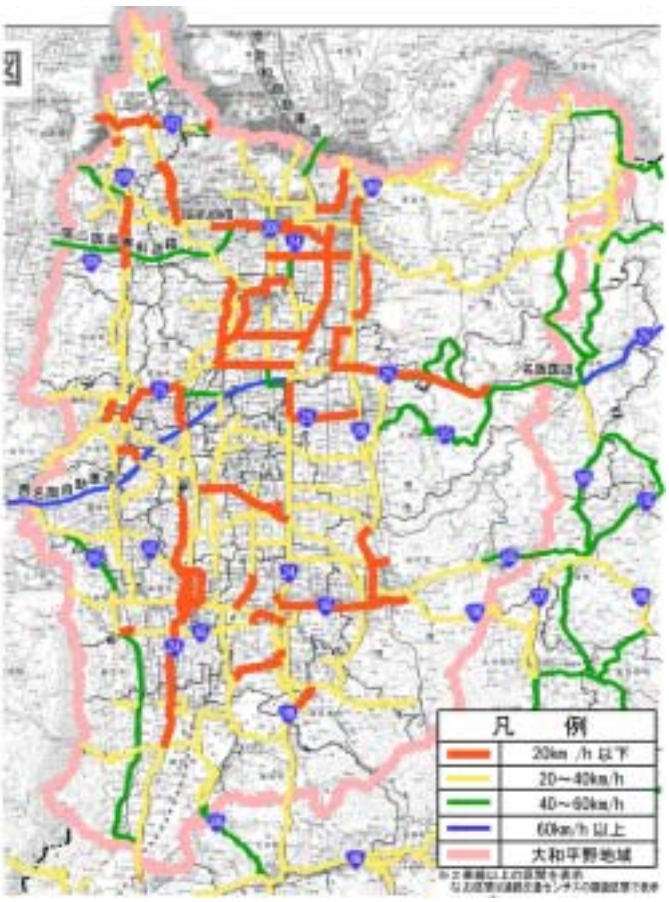
渋滞の状況（国道168号 香芝市内）

渋滞の状況（国道24号 奈良市）

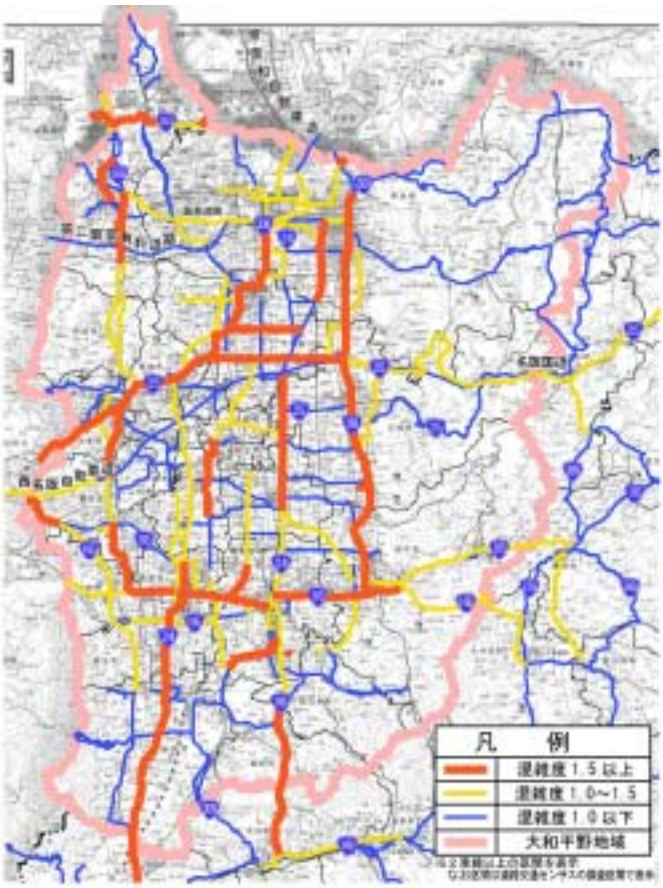
大和平野の道路状況（国道24号 田原本町）




大和地域の道路状況（国道・県道）



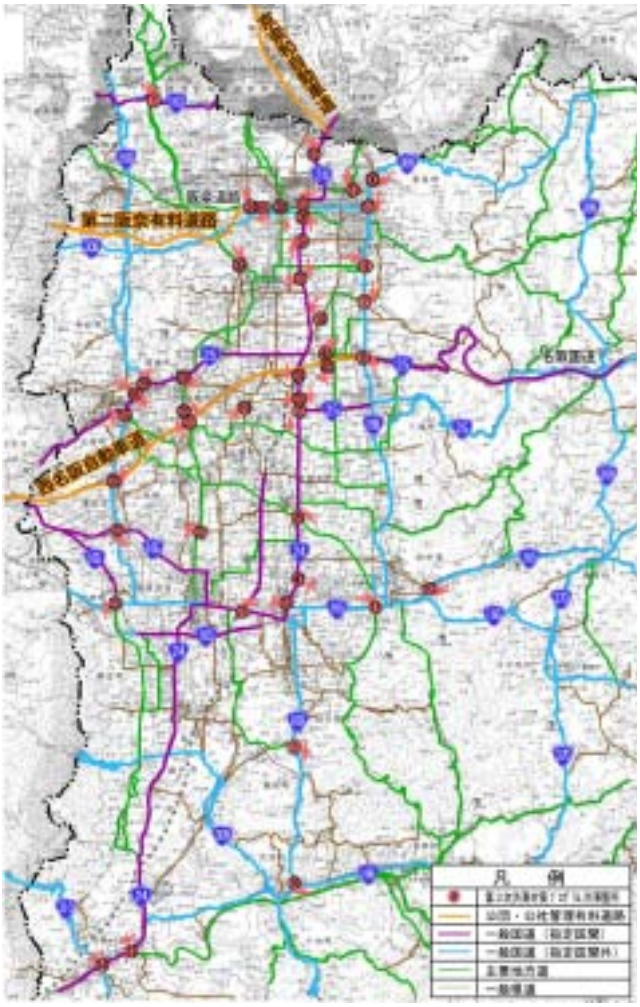

大和平野地域のピーク時旅行速度




大和平野地域の混雑度

大和平野地域の交通量（平日 12 時間）

H11 年道路交通センサス



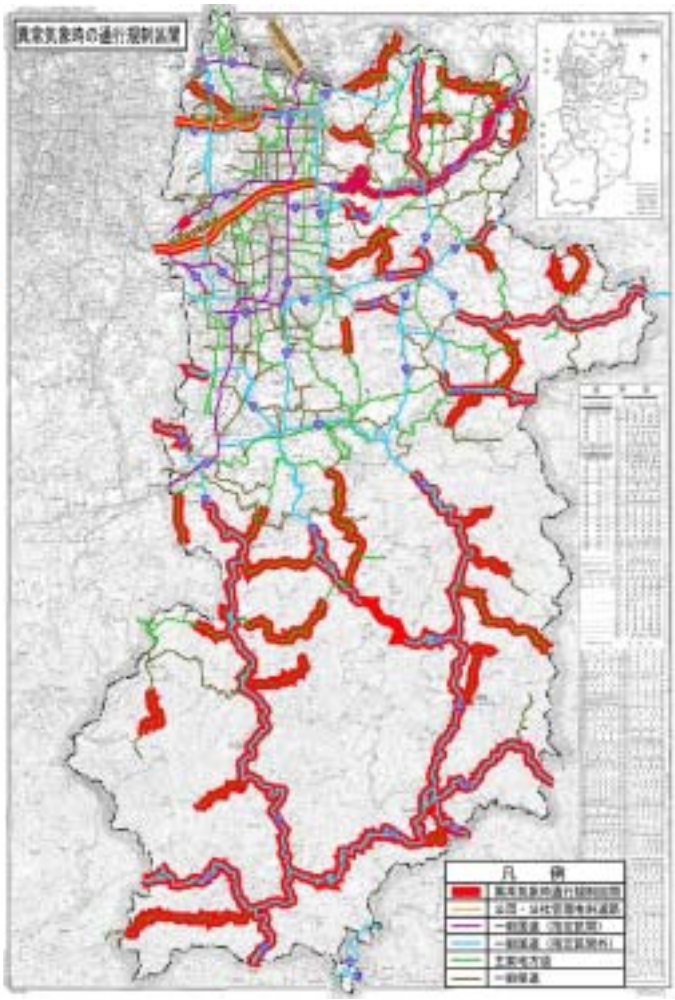

第３次渋滞対策ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ対象箇所と対策済み箇所
（表中色塗りは対策済み箇所）

歩道がない市街地内の国道（国道 168 号生駒市内）

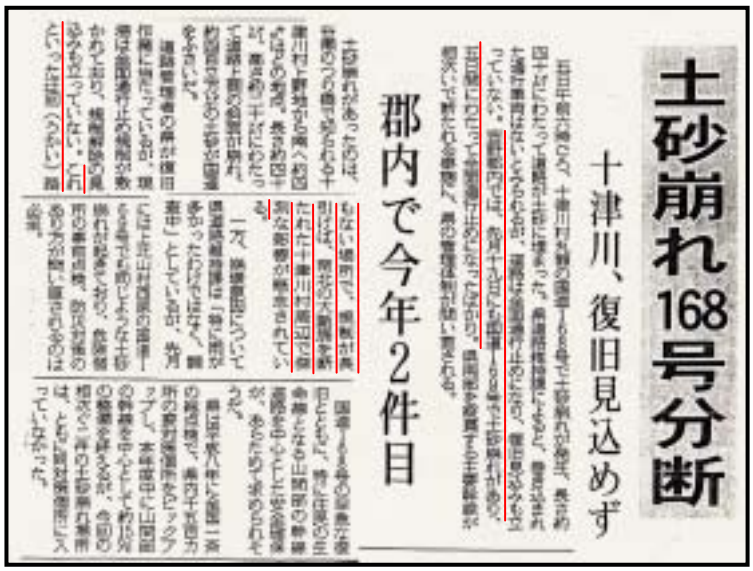
## 大和高原地域・五條吉野地域

・大和高原地域は、標高 50～500m程度の比較的なだらかな山地状の地形となっており、五條吉野地域は、標高 500～2000m程度の急峻な地形となっています。
・これらの地域は、主に補助国道により隣接市町村と連絡されています。
・大和高原地域の北部には、地域の骨格となる４車線の名阪国道がありますが、五條吉野地域には骨格となる道路がありません。
・これらの地域の主要な道路は、地域住民の生命線となっていますが、異常気象時の通行規制区間や土砂災害が発生するなど安全性や信頼性が低く、一度、災害等により通行が規制されると周辺市町村との連絡が非常に困難となります。
・また、主要な道路においても幅員が狭い箇所や急カーブが多いなど、日常的に利用するドライバーにとっては運転の負担が大きくなっています。
・この様な道路事情などから、救急搬送の平均収容時間は 30 分以上となっています。
・山地部における道路整備では、急峻な地形により橋梁やトンネルが必要となるため、事業費が高くなります。

**大和高原地域・五條吉野地域の道路状況**
資料：平成 11 年道路交通センサス




**異常気象時の通行規制区間**
資料：平成 11 年道路交通センサス



土砂崩れ 168号分断

十津川、復旧見込めず

郡内で今年2件目

災害を伝える新聞報道
＜2002年２月６日：奈良新聞＞

多発する道路災害

すれ違いが困難な道路（国道168号大塔村）

カーブが連続する道路（国道168号十津川村）

救急搬送の平均収容時間が 30 分以上の地域

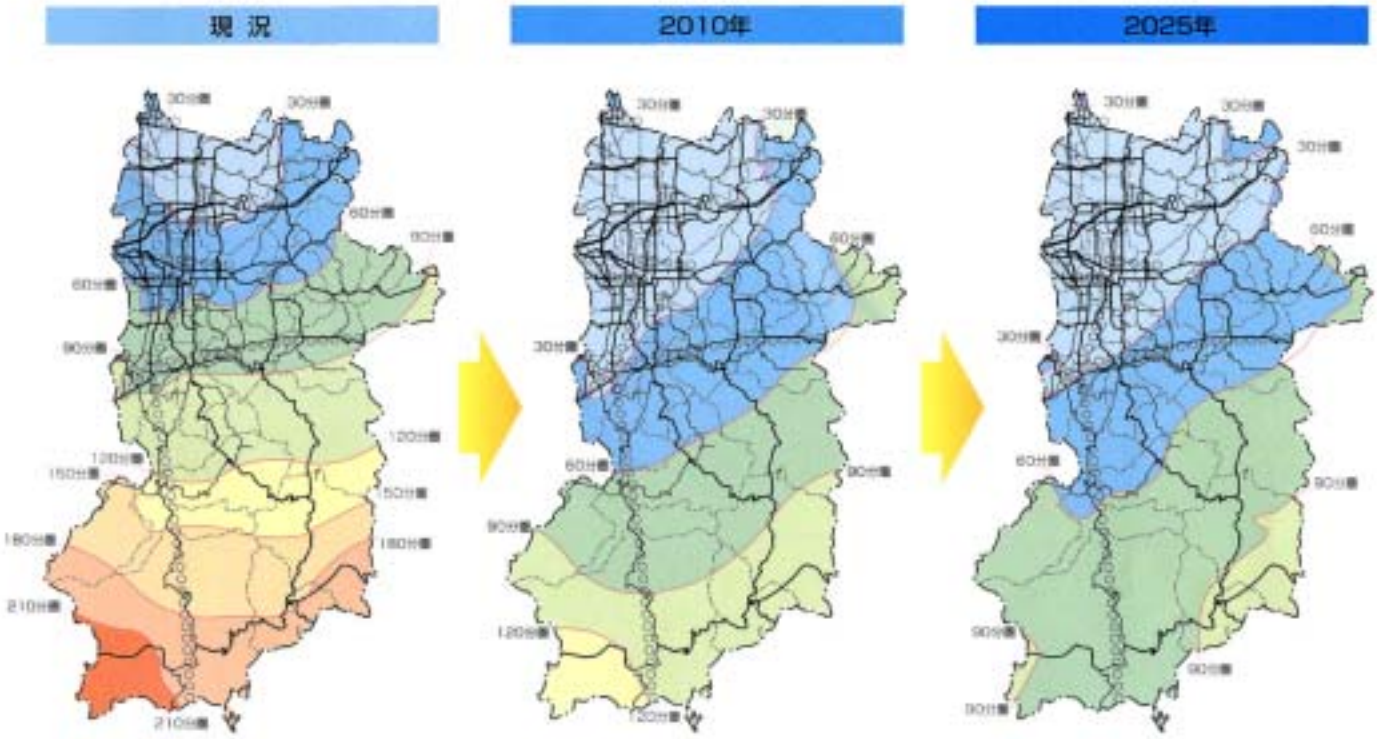
資料：奈良県消防防災年報

# 奈良県の道路施策

**「なら・半日交通圏道路網構想」**

2025 年を目標に、県内のどこへでもおよそ２時間以内で移動でき、半日で往来できる道路や、市街地でのより安全でスムーズな移動を実現することによって、奈良県全体がバランスよく発展することを目指します。

■奈良市中心地への移動時間圏図




■橿原市からの移動時間図

※橿原市からの移動時間については、市役所間の時間を示しています。

「なら・半日交通圏道路網構想」

**～実現のための３本柱～**

- **●幹線道路網の整備**
- **●市街地の総合的な渋滞対策**
- **●奈良らしさを活かした沿道環境の整備**

**2010 年の主要道路ネットワークの概略図**

# 京奈和自動車道建設促進奈良県民会議

**１．設立時期**　　平成６年７月

**２．設立趣旨**

京奈和自動車道の重要性を広く県内外に訴え、全力をあげて早期整備実現に取り組むため。

**３．構成団体**

広く県内各層を代表して設立目的に賛同する団体

（現在、県内９０団体により構成）

奈良経済同友会、奈良県コンクリート製品協会、奈良県広告美術塗装業協同組合、(社)橿原青年会議所、(社)奈良工業会
(社)奈良県宅地建物取引業協会、奈良県板金工業組合、奈良県中小企業団体中央会、(社)全日本不動産協会奈良県本部
奈良県スポーツ用品協同組合連合会、奈良県商工会議所連合会、奈良県旅館・ホテル環境衛生同業組合、奈良県経営者協会
(社)奈良県建築士事務所協会、奈良県石油共同組合、(社)奈良県自動車整備振興会、奈良県森林組合連合会、奈良県タクシー協会
(社)奈良県経済倶楽部、(財)奈良県交通安全協会、奈良県木材協同組合連合会、奈良県履物協同組合連合会、奈良県農業協同組合中央会
奈良県三輪素麺工業協同組合、奈良県製薬協同組合、奈良県医薬品小売商業組合、(社)奈良県トラック協会、(社)奈良青年会議所
(社)奈良県高圧ガス保安協会、奈良商工会議所、(財)なら建築住宅センター、(社)奈良県測量設計業協会、奈良県自動車販売店協会
奈良県道路協会、奈良県信用保証協会、奈良県自家用自動車協会、日本水道協会奈良県支部、(社)奈良県建設業協会、奈良県薬事団体連合会
奈良県簡易水道協会、大和高田商工会議所、(社)奈良県銀行協会、奈良県商工会連合会奈良県プレキャストコンクリート協会、奈良県医師会
(社)奈良県食品衛生協会、奈良県管工事工業組合、奈良県生コンクリート工業組合、奈良県プラスチック成型協同組合、(社)奈良市観光協会
(社)全国旅行業協会奈良県支部、奈良県畜産農業協同組合連合会、(社)奈良県畜産会、奈良県酒造組合連合会、奈良県花き植木農業協同組合
(社)日本青年会議所近畿地区奈良ブロック協議会、(社)奈良県バス協会、(社)奈良県観光連盟、（社）奈良県歯科医師会、奈良県治水砂防協会
奈良県文化協会連盟、奈良県高圧ガス溶材商協会、奈良県測量設計協同組合、奈良県集成材加工協同組合、生駒商工会議所
(社)奈良県環境保全協会、奈良県板ガラス商工業協同組合、奈良県自動車整備工業協同組合、奈良県軽自動車協会
奈良県地域婦人団体連絡協議会、(社)奈良県ビルメンテナンス協会、奈良県農業共済組合連合会、(社)奈良県建築士会
奈良県漁業協同組合連合会、橿原商工会議所、(財)奈良県消防協会、(社)奈良県薬剤師会、(社)奈良県産業廃棄物協会
奈良県緑化土木協同組合、(財)奈良コンベンションビューロー、全国共済農業協同組合連合会奈良県本部、奈良県農業協同組合
奈良県舗装協議会、奈良県農業会議、(財)日本電信電話ユーザー協会奈良支部、奈良県交通安全母の会連合会、奈良県レンタカー協会
(社)奈良市商店街振興会、奈良県信用金庫協会、奈良県倉庫協会

**４．活　動**

・平成８年７月　　シンポジウム開催(奈良県新公会堂)
・平成10年11月　　シンポジウム開催(ならまちセンター)
・平成12年10月　　シンポジウム開催(ならまちセンター)
・平成13年３月　　シンポジウム開催(奈良県新公会堂)

その他、毎年要望活動などを実施。
京奈和自動車道建設促進協議会東京決起大会などを共催。

# 京奈和自動車道整備促進期成同盟会

**１．設立時期**　　昭和63年10月

**２．設立目的**

京奈和自動車道の整備促進の必要性にかんがみ、各地域の道路整備促進既成同盟会等相互の連帯と協調を図り、本道路予算の拡充、整備促進に寄与することを目的とする。

**３．構成団体**

県内の４７市町村　（県内全市町村により構成）

奈良市、大和高田市、大和郡山市、天理市、橿原市、桜井市、五條市、御所市、生駒市、香芝市、月ヶ瀬村、都祁村、山添村、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、大宇陀町、菟田野町、榛原町、室生村、曽爾村、御杖村、高取町、明日香村、新庄町、當麻町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、西吉野村、天川村、野迫川村、大塔村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村

**４．活　動**

毎年、要望活動などを実施。

京奈和自動車道建設促進協議会東京決起大会などを共催。

# 京奈和自動車道建設促進協議会

**１．設立時期**　　平成８年10月

**２．設立目的**

京奈和自動車道の早期実現を期するための必要な調整、連絡及び要望活動を行うことを目的とする。

**３．構成団体**

京都府、奈良県、和歌山県（沿線の府県により構成）

**４．活　動**

毎年、要望活動などを実施。

平成10年８月　・東京決起大会開催（東海大学校友会館）
平成12年８月　・道路整備に関する意見交換会開催
（（財）商工会館会議室）
・東京決起大会開催（東海大学校友会館）
平成13年８月　・近畿圏の環状連携軸の形成に関する意見交換会
・第二名神高速道路・紀淡連絡道路・京奈和自動車道合同促進大会
共同開催（東京赤坂プリンスホテル）
平成14年８月　・東京決起大会開催（東海大学校友会館）

# 京奈和道 早期完成を要望

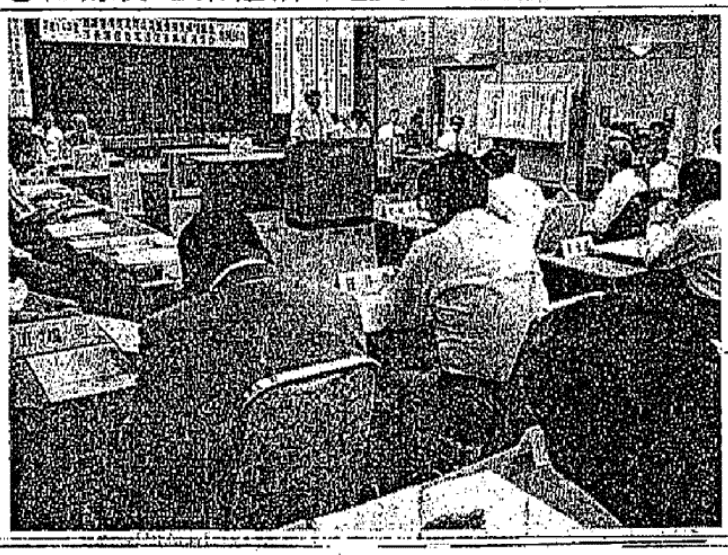
## 整備促進同盟会「必要性堂々と意見を」

京奈和自動車道の道路整備促進を訴えるため、県内四十七市町村で構成される「京奈和自動車道整備促進期成同盟会」（会長、大川靖則・奈良市長）は二十八日、奈良市内で総会を開き、京奈和道全線早期完成を要望する決議を採択した。総会では特に、ルートが策定されていない大和北道路の問題に話題が集まり、会は整備促進派として積極的にルート計画の早期決定を求めていく方針を明らかにした。

総会には、市町村の代表計四十二人（うち首長二十五人）が出席。大川市長は冒頭、「（平城京域に京奈和道のトンネルを通す案に関し）反対派の意見を多く聞くが、今こそ、整備促進を望む私たちが道路の必要性を訴える運動を展開し、全線開通実現を促すべき」とあいさつした。

来賓の柿本善也・知事も「京奈和道の必要性について、多くの人が真剣に考えています。それを堂々と意見してほしい。道路整備促進につながるでしょう」と、期成同盟会の運動を激励。また、阪本道隆・県商工会議所連合会長も、京奈和道建設がもたらす経済効果や、医療機関へのアクセス向上などの利便性を例にあげ、「確かに文化財は大切だが、それ以上に将来に渡って道の恩恵を受けることも大切ではないか」と述べた。

一方、近畿地方整備局奈良国道工事事務所の有野充朗所長は、懸案の大和北道路のルートについて、「県民の意見をもらって基本計画策定手続きに入りたい。みなさんの意見をしっかり出していただければ道路整備促進につながります」と話し、策定時期については「必要な議論を踏まえる」とがないようにしたい」が、無駄な時間を使うこと」と述べた。



京奈和道の早期全線開通を目指し、意見を交わした県内の市町村長らＩＩ奈良市の奈良パークホテル

| 産経新聞 | 朝刊・夕刊 | 27面 |
|---|---|---|
| 2002（平成14年） | 8月29日（木） | |

意見書第一号

京奈和自動車道の建設促進を求める意見書

高規格幹線道路の京奈和自動車道は、本県道路網の基軸であるとともに、京都、奈良、和歌山を結ぶ関西大環状道路を形成する重要な道路であり、本県はもとより関西圏の産業、文化、観光産業等の活性化に大きな効果をもたらす事業として期待されている。

このうち、基本計画が策定されていない唯一の区間である大和北道路（京都府境～西名阪自動車道間）について調査が着実に進められており、実現への期待が高まりつつあるところである。

こうした現状から、大和北道路の基本計画を早期に決定し、県民が期待しているこの道路の建設促進に向けて、国の直轄事業費の確保と重点実施のための諸課題について一層強く促進する必要がある。

また、事業中の大和・御所道路及び五條道路についても、早期整備、早期完成を強く推進する必要がある。

よって、国におかれては、今後とも京奈和自動車道の建設を引き続き推進するため、必要な財源を確保し、早期開通を実現するよう強く要望する。

以上、地方自治法第九十九条の規定により意見書を提出する。

平成十四年三月二十五日

奈良県議会